

1. 平成22年度の活動概要

22年度の活動内容は、救命講習班・啓蒙班・広報班ごとにスキルアップを図る為に課題を決めて活動を進めた。救命講習班は、全員がリーダーとなり指導ができるよう訓練を行うと共に普通救命講習指導勉強会を開催し指導技術の向上を図った。啓蒙班は、防火教室を実施する際は、活動計画書による指導内容の確認と実施後は振り返りを行い問題点を抽出検討することで今後の活動の改善・ステップアップを図った。広報班は、女性団員のHPIにアップする内容の見直しを行い敏速に更新ができるようになった。また、団員募集と活性化を図る為に女性消防団員募集のポスターを作成し、今後の団員確保に繋げられるように掲載先、配布方法などの検討を行った。

2. 平成22年度の活動実績

(1) 救命講習班

普通救命講習会は、2団体と新入団員を対象に実施した。救急の日に因んで開催された救急フェアにおいて、消防職員と共に救急法の展示と説明を行い、多くの市民に応急手当の大切さを伝えた。新入団員3名が応急手当普及員の資格を取得し指導員として活動を開始した。また、救急隊員を招いての「普通救命講習指導勉強会」を開催しスキルアップを図ると共に全員が普通救命講習のリーダーとなるように団会議前に「10分間スピーチ」を行い普通救命講習の導入の手法、話術を磨いた。「1人年間2回の救命指導」の目標を掲げた事により、特定の団員にかたよっていた行事参加の負担が軽減し、団全体の指導力の底上げにつながった。



(2) 啓蒙班

昨年度に引き続き夏休みに小中学生対象に南古谷地区で開催された南古谷防災キャンプで体験型防火教室を開催した。昨年度の反省を踏まえ手順の見直しを行い「住宅用火災警報器の重要性」「119番通報の手順」「体に火が燃え移った時の消火方法」「煙の下を潜り抜ける方法」を児童53名に指導した。また、子供達が好きなクイズも取り入れ楽しく学べる教室となった。埼玉県消防協会第2ブロック連絡協議会の女性団員研修会において研修出席者115名に対し活動事例発表として小学生を対象に実施している防火寸劇と腹話術等を披露した。育成会を対象とした防火教室では子供達が自分の命は自分で守れるよう防火意識の向上を図った。



(3) 広報班

女性消防団員の活動を多くの市民に認知してもらえるよう、広報内容の充実を図るための検討を行った。年間の活動実績集約のため21年度活動報告を完成させ、22年度の活動実績を迅速に作成しHPIに掲載した。また女性消防団員の活動PRのため川越記者会への情報提供用の記事の作成を行った。広報班として肖像権や著作権を考慮し、「撮影のお願い」を作成して写真撮影取材時に普通救命講習会に参加されている方などに口頭による協力をお願いに加え会場にポスターの掲載を行った。団員確保と活動の活性化を図るため、消防団に興味を持ってもらえるような女性団員募集のチラシを作成しイベント参加時に配布した。さらに配布方法や掲載先の拡大を検討している。

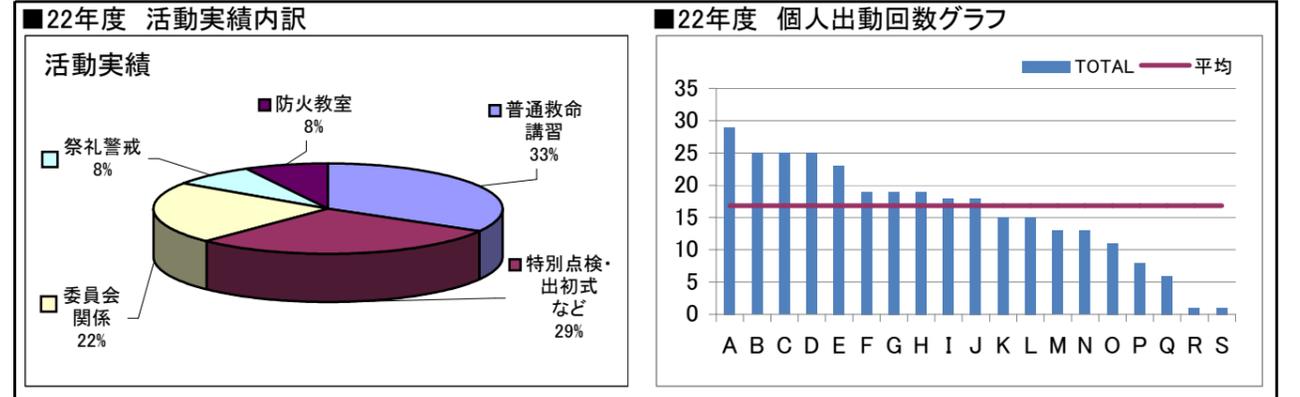


3. 活動報告

第2ブロック連絡協議会の事業として平成20年度から実施している第3回第2ブロック女性消防団員研修・情報交換会が平成22年7月4日(日)に川越支部担当により開催された。川越市消防団の女性消防団員が活動発表として防火寸劇『ホットケーキがこげちゃった』を披露した。この防火寸劇は育成会を対象に実施している防火教室で着ぐるみの「みみちゃん」と「トラ吉くん」、消防団のお姉さんが火事になってしまったらどうしたらいいのかを楽しく教えるストーリーである。そして《自分の命は自分で守る》をテーマに子供たちに興味を持ってもらい楽しく学べるプログラムになるよう導入として腹話術も取り入れている。研修会に参加した各地区の女性消防団員から好評を得ることができた。また、情報交換会では各地区の女性消防団員と活動内容などの情報交換を活発に行い、お互いの活動に刺激を受けながら第2ブロックの女性消防団員がより向上できればと強く感じることができた研修会となった。



4. 出動人員グラフ



5. 平成23年度活動方針

- (1)平成23年4月1日より女性消防団員の定員が5名増員され25名に条例改正されることから広く女性消防団員の募集を行う。
- (2)団員全員が初心に帰って女性消防団員の位置づけを認識し、個々の知恵と力を出し合い相互の理解を深め活動を行う。
- (3)これまでの活動内容を振り返り、市民の皆様のために「今自分たちができること」の更なる飛躍を目指す。

■各班の活動方針

【救命班】

1. 正確な知識と技術を身につける
 - ①新入団員の応急手当普及員の早期取得
 - ②マニュアルを活用した知識、技術の維持向上
2. 指導力の向上
 - ①10分間スピーチの継続実施
 - ②研修会の開催
 - ③マニュアルの修正

【啓蒙班】

1. 体験型防火教室のマニュアル作成
2. 寸劇の内容を充実させる
3. 新しい寸劇の検討

【広報班】

1. 業務分担を明確にした活動
2. 年間行事予定より投げ込み内容および実施時期の検討
3. 消防団PR
 - ①大学、事業所等への団員募集PR
 - ②各種イベントでの消防団PR
 - ③消防団員募集DVDの作成